

# あらうま!!

## 桜と共に新学期がスタート!!



気の早い桜も、何とか入学式まで待って、春の嵐と共に花びらが舞ってしまいました。

進学進級で新たな思いで子どもたちとの出会いが始まりましたね。「今年はこんなことを！」夢ふくらんでいることではないでしょうか。

さて、西多摩ブロックの春の学習会が3月29・30日の2日間、屋城小で行われました。遅くなりましたが、まずは、

今回はその報告から・・・。

\*屋城小も桜の海に囲まれています、ちなみにこの写真は屋城小ではありません。念のため・・・。

## 春の学習会の報告です。・・・・・・・・

第1日目・3月29日(土)の報告から・・・!

1日目の提案者は、水本さんでした。5年生の「首はね跳び」の実践を提案してもらいました。参加者は、井上さん 渡辺、そして、提案者の水本さんということで、「あれ～?!」でしたが、それでも3人で近況を報告したあと、子どもたちのビデオを見ながらその取り組みを聞きました。

...といっても実は、西多摩では2回目。でも、改めて子どもたちの学び合いの様子を見させてもらいましたが、5年生 男女協力しながら、言葉をかけ合いお互いアドバイスをしながら、笑顔で学び合っている様子には、「う～ん、すごいな～」と再度感心させられるものでした。

この実践の柱は、「できる」を前面に出さず、「わかる・結び合う」を第一にしたところにあります。しかし、結び合うことを大切にすることが、結果的には、全員が首はね跳びができてしまった!ということ。つまり「わかる・結び合うこと」が、子どもたちに「できる!」を可能にしてくれたというのです。

教師が「できる」を前面に出さなくても、子どもたちに目標が手渡され、その

目標が共有された時、そして、それが「できる」ための学習の筋道がしっかりと子どもたちに見えた時に、子どもたちはお互いの力を寄せ集めて「できる」ことに向けて力が発揮されるということなんですね。そこにグループ学習の力があり、子どもたちがそのことを証明してくれたのです。

ただ、水本さんいわく。「何で6年生になると、かったるくなるのかな～」。あんなに頑張った5年生なのに、6年生になった時の笑顔は違うというのです。6年生になってもやることはやるのですが、やっぱり違うそうなのです。6年生には6年生の課題ややり方があるということなのです。

ちょっと考えながら、6年生には「競い合うこと」など運動の文化としての内容を軸に学ぶことが必要かも。それと、お互い体に触れ合うこと（例えば、補助なども・・・）はだめかも。そこには、一年分の体や心の子どもたちの成長の姿がある。だから、それに伴い教材や学ばせ方にも工夫や配慮が出てくるのかな～。

なるほど、改めて、学びの主人公は、やっぱり「子どもたち」だということ。教師のおしつけや子どもたちの心を無視した取り組みなんてあり得ないのですね。我が身を振り返りながらつくづく感じ入りました。

## 第2日目、3月30日の報告です・・・・・・・・。

午前9時からのスタートでした。8人の参加でした。提案者は、横森さんと武本さんの2人でした。

はじめに、横森さんから中学校からの実践提案でした。中学3年生のバレーボールの実践でした。3年といえば受験！体育の授業そのものが生徒たちのどうなのかなと思ったのですが、そこは横森先生の体育で気付かせたい、育てたい力があるのですね。バレーボールは、小学校ではあまりなじみのない教材かもしれません。横森先生のこだわりは、本当の楽しさ！技術の差があるだけに生徒たちに勝手にゲームをさせれば、できる子だけがバンバンスパイクを打ってしまう。それでは、みんなが参加できない。3回で返す！条件付きのゲーム展開を基本に進める！というもの。練習・試しのミニゲーム。そんな中で生徒たちはつながる面白さ、ゲームの作り方を感じ取っていく。チームとしての連帯感・・・。

横森先生のこだわりは、体育で育てる。それは技術ばかりでなく、生徒たちの人格。人とつながることで学べる人格形成・・・・・・・・と書いていいのでしょうか。ここは報告している私の理解で十分ではありません。「連帯」この言葉が横森先生のキーワードでした。先生としてだけでなく人間として生徒たちと向き合いたいという想いが伝わってくる報告でした。中学校の実践はなかなか出会うことがないだけに、勉強になりました。今、小中一貫教育ということが叫ばれていますが、子どもたちの伸び盛りのこの時期の教育環境をどうつくるのか、これからの大きな課題になりますね。また、この実践は今年の全国教研で報告されるということです。その報告も聞きたいところです。ありがとうございました。

そして、もう一本が武本先生の実践。伝統芸能の「車人形」を通した実践報告

でした。舞台は、小河内・氷川。小河内小がなくなり氷川小が一つになるという、地域を挙げての大問題になった時に、地域と学校とを結んだのがこの「車人形」だったのです。

山間部の限られた人たちで生活をしているところでは、ひとたび人間関係が崩れると生活そのものができなくなってしまう。それは厳しいものがあるようです。厳しい条件の中での生活だからこそ、お互いが生活も気持もつながっていくことが大切だったのです。それだけに地域にある学校の存在は、とても重要なのです。子どものことを考えると大きな学校で！と考えるのも親の常。しかし、子どもがいなくなることで学校の存続が！そんな不安な住民の心を、地域伝統芸能である「車人形」を子どもたちが受け継ぐことで払しょくさせようとしたのが、武本さんのこの実践の始まりだったのです。もう6年目になるそうです。

今や、保存会の組織もしっかりとでき、練習日も定例化され、大きな発表会も実施され、地域の大切な取り組みにもなっています。地域と子どもたちがこんなにも深くかかわっているのに、学校の取り組みの中には入っていない、全くのボランティアというのがとても不思議です。子どもたちを育てる。地域と学校とがしっかりと結び合っこそ、子どもたちはゆたかに成長できるのですね。まさに地域が育てる！そのものです。

新学習指導要領の中で、文化伝統を大切に教育活動の中に位置づけるとあり、その取り組みとして、各学校に伝統芸能教育の担当者を置くとまででてきましたが、武本さんの実践は、取り組むように！ではなく、地域と学校とが作り上げてきた！という実践です。そこに、武本さんのすごさがあります。学校が地域のコミュニティセンターとしてなる大きな存在の意味があります。

横森先生も武本先生も、「人を育てるのは、やはり人！」子どもたちが育つ「教育・共育・生活環境づくり」の大切さを感じました。

十分な報告にはなっていません。また例会の中で、補足・訂正をして欲しいです。よろしく願います。

## 参加者の感想から・・・

・目の前にいる子どもたちを見ている時に、時々感じていたことは、「今の子どもたちが生きていく世の中は大変だな～」ということです。子どもたちがいろいろな人との出会いの中で、一人でも安心できる人間関係ができれば、それは貴重なことだと思います。子どもと過ごすなかで、子ども同士の関係から人間関係を広げられたらな・・・と思いました。 Mさん

・中学校体育での「生徒間の連帯」という考え方が新鮮で魅力的だった。小学校の学級づくり（集団づくり）体育の授業づくりで手抜きなんかできないな、そう思われた。

Tさん



・横森さんの実践は、中学生をどう結び付けるかという点と、バレー指導の系統性について考えさせられました。バレーという教材で、また、その指導計画の工夫によって、中学生たちが変わっていった様子が分かりました。また、3年間の学びの中から、最後に体育小論文を書かせているのも面白い実践でだと思いました。横森さんの中学校での実践の一面が分かりました。

武本実践では、地域の子どもたち、親たちをどう結び付けるかというテーマでの「車人形」の取り組みがとても興味深く、そして、武本さんの熱い思いを感じることができました。子ども、地域、私たち教師がどう結び付いていくのか、本当にこれからの課題ですよね！！  
Kさん

・横森先生や武本先生に実践は、それぞれ興味深かった。時間があれば、それぞれの先生がご自分の実践をもってどう職場づくりをしていらっしゃるのかをもっとお話を聞きしたかった。若い先生を励まし育て、そして、ベテランから若手までが元気になるような子どもの話や実践交流がどうやって行くのか、自分の課題として新年度を迎えようと思いました。

東京支部の研究としては、各サークルブロックが集団討議に重きをおいて、実践を子どもの側から丹念に見ていくことをやっていくべきだと思いました。

Yさん

・横森さんの丁寧な実践は、本当に素晴らしいと思いました。中学生が真剣に体育に取り組んでいる姿が目に見えようでした。バレーボールでどんなことを教えたいかということもはっきり伝わってきました。

武本さんの「車人形」の取り組みも素晴らしい！武本さんならではの実践だと思いました。いつもながら武本さんの地域や子どもたちと深く結びついた実践にはただただ感嘆するばかりです。小河内のことも聞けて、良かったです。

Iさん

・まだ自分の実践がすっきりしないけれど、提案させてもらったことは、良かったかな？やっぱり、ぼくは状況の中ら見る癖があるからだけど、教育基本法が変えられたことは大きいと思う。僕の実践は07の教育基本法の本質である「民主的・文化的・平和的な社会の形成者に向かっているつもりである。そのための、うまくなる・わかる・教え合っつながる実践なのである。体育は、「僕の生きがい」でまとめてみようかと思っている。  
Yさん

## 西多摩ブロック今後の活動計画（案）

- 4月19日（土） ・私の年間授業計画（体育を軸に）  
・新学習指導要領を読む 何がどう変わったか！
- 5月17日（土） ・「鉄棒と跳び箱」の実技  
低学年を中心に・・・
- 6月14日（土） ・授業報告（鉄棒・跳び箱）
- 7月5日（土） ・授業報告（鉄棒・跳び箱）
- 8月19日（火） ・東京支部大会 西多摩B（鉄棒・跳び箱分科会合担当）  
20日（水） ”
- 9月20日（土） ・同志会新年度スタート！

...という訳で、8月の東京支部大会に向けてのブロック準備があります。低学年の「鉄棒と跳び箱」分科会です。4月から課題は、そこに集中しますので、研究・準備にご協力をお願いします。

# 4月例会のご案内です!!

「新学期・体育の年間指導計画づくり」

日時 4月19日（土）pm1：00～

会場 あきる野市立屋城小学校

・体育の授業 1年間を見通してどんな力をつけたいか

\* みんなで持ち寄りましょう

・新学習指導要領 体育では、何が違って、どうなのか？！

お待ちしております！！